

映画「みんなの学校」上映会

人権学習会として、すべての子どもがともに学ぶ学校づくりに挑む大阪の公立小学校を追ったドキュメンタリー映画を上映します。子どもたち、保護者、教職員、地域がどうつながり、学び合うのか…。多様性や互いに受け入れ合うことを考えるきっかけになる作品です。ぜひご鑑賞ください。

【日時】 8月8日(土) 開場13:00～ 開始13:30～

【場所】 天神児童館 2階 集会室

【内容】 映画「みんなの学校」(日本語字幕あり・上映時間106分)

【定員】 約40名 ※駐車場には限りがございます。できる限り乗り合わせでお越しください。

【共催】 天神児童館、西部センター、西部公民館

【後援】 田辺第三小学校 学社融合推進協議会

○入場無料・申込不要

○年齢制限はありません。どなたでもご覧頂けます。



西部公民館だより

令和8年8月号

未来へつなぐ道
田辺市

【発行】西部公民館
【館長】藤堂 素子 【主事】元戎 智美
【事務所】田辺市東山一丁目5番1号(本庁舎5階)
【TEL】26-4908 【FAX】24-8323
【館区の人口と世帯数】(令和8年6月末現在)
4,552人(男2,089人・女2,463人) 2,696世帯

「西部花いっぱい運動」を行いました

6月23日(火)、御所谷坂沿いの花壇にて、田辺第三小学校学社融合推進事業として児童と地域の方々が集まり、「西部花いっぱい運動」を行いました。

当日は小雨が降る中でしたが、第三小学校の5年生と、西部老人クラブ連合会や古尾花いっぱいの会などの皆さんと一緒に4種類の花を植えながら交流し、たくさんの花で彩られた花壇ができました。近くを通られた際にはぜひご覧ください。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



西部公民館 書道サークル 参加者募集!

西部公民館では「書道サークル」の参加者を募集しています。書道に関心のある方、これから新たな趣味や特技を持ちたいと思う方、書道の経験のない方でも安心して気軽に参加できますので、ぜひご参加ください。

【活動日】 毎月 第1・第3 木曜日 午後7時30分～午後9時

【会場】 西部センター(日によっては変更となる場合があります)

【会費】 8,000円(半年)

【講師】 線崎 稲村 先生

興味のある方、参加をご希望される方は、西部公民館事務局(☎26-4908)まで、お気軽にお問合せください。



田辺第三小学校「清心自立」7月号

「できた!」が増えた1学期

校庭では、照りつける日差しの中でも、子どもたちの元気な声が響いています。いよいよ1学期の終業式を迎えました。

この4か月を振り返ると、子どもたちは本当にたくさんの「できた!」を積み重ねてきました。1年生は学校生活に慣れ、新しいことに笑顔で挑戦しました。2年生以上の子どもたちも、運動会や校外学習、水泳学習、日々の授業など、一つ一つの経験を通して、友達と協力する力や最後までやり抜く力を大きく伸ばしてきました。

毎日学校を歩いていると、「校長先生、見て!」「できるようになったよ!」と声をかけてくれる子、声をかけずとも、私にアピールしてくる子どもたちがたくさんいます。その表情は、どれも自信に満ち、次の挑戦への期待にあふれています。

本校では、「みんなの好きがいっぱい田辺第三小学校」を合言葉に、一人一人の「好き」や「やってみたい」を大切にしています。好きなことに夢中になる時間は、人を大きく成長させます。そして、その「好き」が広がることで、新しいことに挑戦する勇気や、友達を認め合う気持ちも育っていきます。

いよいよ夏休みです。普段はできない体験や読書、家族との時間、地域での出会いなど、この時期だからこそ味わえる「ワクワク」がたくさん待っています。ぜひ、自分の「好き」を見つけたり、深めたりする夏にしてほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、1学期間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

夏休み中も、安全と健康に気を付け、9月には、一回り成長した子どもたちの笑顔に会えることを楽しみにしています。

【浮いてまて!】水難事故防止講習会

7月14日、5・6年生を対象に、海、川等でおぼれた時の対処方法を学ぶ「浮いてまて」講習会を消防士の方を講師に迎え行いました。

水難事故は、水着を着用しているときよりも、衣服を着ているときの方が圧倒的に多いそうです。衣服を着用して水に入ると、とても動きにくくなり、思うように泳げなくなります。そのため、仰向けになって、「浮いてまて」ことが助かる方法ということを学びました。

これから夏休みに入ります。川や海に出かけることもあると思います。皆様くれぐれも安全には気をつけましょう。



「自主・自律・連帯」8月号 ～充実の1学期～

◇「青さ」という名の宝物を抱えて ―1学期を振り返って―

暑さ厳しい日々がつづいています。保護者、地域の皆さま方におかれましては、お体に気をつけてお過ごしください。

さて、1学期も終わり、夏休みに入りました。終業式での式辞の一部を紹介します。

『桜が舞う4月の始業式から4ヶ月が過ぎ、本日、1学期の終業式を迎えました。1年生は新しい環境に慣れるために必死に走り抜け、2・3年生は先輩や最高学年としての自覚を持ってそれぞれの役割を果たしてきた4ヶ月間だったのではないのでしょうか。』

私は始業式で、皆さんに「青春」という言葉を贈りました。「青春とは人生のある期間を指すのではなく、心のありようを言うのだ」という詩人の言葉を借りつつ、私が伝えたかったのは、もっと身近で泥臭い「今」の価値についてでした。

「青春」の「青」には「未熟」という意味が含まれていますが、それは決して恥ずかしいことではありません。むしろ「何にでもなれる可能性」であり、「何度でもやり直せる権利」です。この1学期、部活動で悔し涙を流したり、勉強や試験で自分の限界にぶつかって落ち込んだり、友達関係でもどかしい思いをしたりした人もいるでしょう。しかし、そうした「思い通りにいかない経験」こそが、皆さんの心の根っこを強くしています。順風満帆にいくだけが青春ではありません。悩み、もがきながらも「次はこうしてみよう」と顔を上げる不器用な道のりこそが、今しか手に入らない一生の宝物なのです。

また、私は始業式で「何か一つ、自分の心が『熱』を帯びるものを見つけてほしい」とも伝えました。それは係の仕事や日々の学習、自分だけの趣味でも構いません。中学校の3年間は有限だからこそ、その瞬間の「一生懸命」には何物にも代えがたい価値が宿ります。「有限だからこそ、最高」なのです。まだ見つかっていない人も焦る必要はありません。自分の中にある「青さ」を大切にしながら探し続けること自体も、一つの「熱」の形だからです。

さらに始業式では、人の一生懸命を笑い、誰かの青春を邪魔してしまったという、私自身の過去の大きな後悔についても話をしました。皆さんはこの1学期、周りの仲間の「一生懸命」をどう見つめてきましたか。誰かが必死に頑張る姿を冷めた目で見たり、挑戦しようとする人の足を引っ張ったりすることはなかったでしょうか。

明洋中学校は、皆さんが安心して「青春」を楽しむための場所です。誰かの挑戦をみんなで全力で応援し、失敗した人には「次があるよ」と背中を押せる温かい空気が、この1学期を通じて少しずつでも育まれてきたことを願っています。他人の一生懸命を応援できる人になることは、皆さん自身をより輝かせる近道でもあります。

明日から始まる夏休みも、皆さんの「青春」の一部です。学校を離れた広い世界で、皆さんの心が何に動き、何に「熱」を感じるのか、先生たち全員が楽しみにしています。「何にでもなろうと考え、何にでも心を動かせる」という、人生で最も贅沢な時間を皆さんは今、生きています。時には立ち止まり、遠回りをしても構いません。そのすべての経験が皆さんの「青さ」を深め、より豊かな彩りを与えてくれるはずですよ。

1学期、本当によく頑張りました。皆さんの努力と優しさに敬意を表します。この経験を糧に、2学期にまた一段と成長した皆さんに会えることを心から期待しています。充実した夏休みを過ごしてください。』

子どもたちにとって、充実し、成長できる夏休みになるように、保護者、地域の皆さま方の見守りもよろしくお願いします。